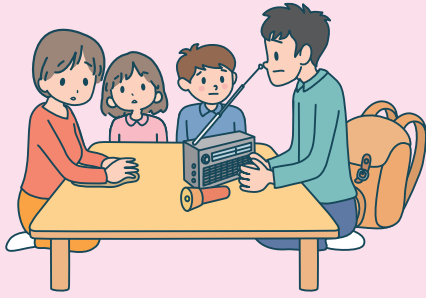


# 4. 避難について

## 避難は自ら判断を

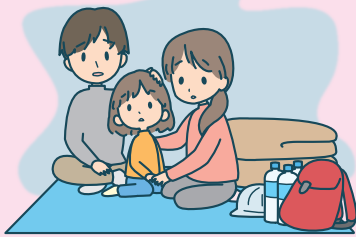
災害が迫ったとき、おかれた状況は一人一人違います。それぞれが自ら判断し、適切な行動をとりましょう。



## 避難先での過ごし方

自宅を離れて避難先で生活するのはとても不自由なことです。慣れない場所での共同生活がストレスや過労を引き起こし、体調を崩してしまうこともあります。

お互いルールとマナーを守り、思いやりをもって気持ちよく生活できるように心がけましょう。



## 避難行動

避難行動は、数分から数時間後に起こるかもしれない自然災害から「**命を守るための行動**」です。

避難行動は、小中学校の体育館や公民館といった公的な施設への避難が一般的でしたが、近年の甚大な自然災害による被害を踏まえ、避難指示などの対象とする避難行動については「命を守る」ためにとる、次のすべての行動を避難行動としています。

このため、ハザードマップなどを基に、避難指示などが発令された時の避難行動をあらかじめ考えておく必要があります。

- ①「屋内安全確保」（その時点にいる建物内において、より安全な部屋等への移動）
- ②「近隣の安全な場所」（自治会の自主的な緊急避難場所など、より安全な場所・建物等）への立退き避難\*
- ③「指定避難所および指定緊急避難場所」への立退き避難

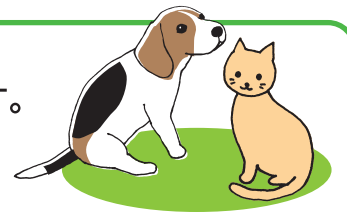
※立退き避難…「近隣の安全な場所」や「指定避難所および指定緊急避難場所」へ移動する避難行動



## ペットとの同行避難

災害は突然起こります。いざというとき、ペットを守るのは飼い主だけです。ペットと安全に避難するためには、日頃からの心構えと備えが大切です。

**備えよう！いつもいっしょにいたいから**



### 1 平常時にやるべきこと

各種ワクチンの接種や、寄生虫の予防、健康面のチェックを行いましょう。また、ケージに慣らす訓練、名札やマイクロチップを使用した所有者の明示をしましょう。

### 2 ペットと一緒に避難場所に避難すること（同行避難）

飼い主が避難用品などの準備や避難先などの下調べをしっかりとしておく必要があります。

### 3 避難先で、周りの人へ迷惑をかけず安心して過ごすこと

避難先において周囲に迷惑をかけないように、普段からしつけをしておきましょう。